

新しい香酸カンキツ ‘阿波すず香’ の育成

背景と課題

徳島県のブランド品目であるスタチやユズは、食味は好評ですが、いずれも「種子の数が多く使いづらい」との意見が多く寄せられておりました。

このため、平成4年に本田系スタチの四倍体に山根系ユズ（二倍体）を交配し、種子の少ない三倍体で優良な形質を持った個体を選抜して‘阿波すず香’と命名し、平成27年3月に品種登録出願を行い、平成29年9月28日に品種登録されました。

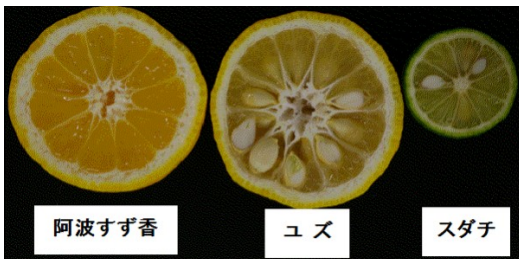
研究の目的

高品質な果実が毎年安定して生産できるよう、栽培技術の確立に取り組みます。

また、阿波すず香’に含まれる機能性成分や加工特性についても調査します。

研究の内容 および成果

- ・ 樹姿はやや開張性で樹勢は中程度、枝梢に発生するトゲの長さはスタチ程度でした。
- ・ 隔年結果性はやや低く、収穫前落果は年によって見られました。
- ・ 果実の大きさはスタチとユズの間程度、種子数は無から少、スタチとユズの間のような香りが有りました（第1表）。
- ・ 果皮は硬く、店持ちおよび貯蔵性は極めて高いことが解りました。



第1表 ‘阿波すず香’の果実特性

品 種	収穫日	果実重 (g)	完全 種子数	糖度	クエン酸
				(%)	(%)
阿波すず香	10月11日	73.3	1.1	8.9	5.8
スタチ(本田)	9月17日	27.8	7.4	10.1	6.8
ユズ(山根)	10月11日	114.6	35.1	8.4	5.3

注)スタチ、ユズは収穫期 阿波すず香は緑色期

生産者の みなさまへ

‘阿波すず香’は、店持ちや貯蔵性を活かした販売戦略を行うことで、食卓を香づけする春のユズとして取扱うよう進めています。

このため、販路開拓について技術面からサポートする予定です。